

2019(平成31)年度千葉県一般会計予算案 組み替え試案 (億円)

	減額するもの	減 額	備 考
土木費	道路ネットワーク事業の見直し、圧縮	44.0	圏央道ICアクセス強化(補助事業13.8億円、単独事業21.7億円)、その他8.5億円
	圏央道、北千葉の先送り	15.8	国直轄負担8.2億円(圏央道6.2億円、北千葉2億円)、県施行分の半額7.55億円
	港湾事業の圧縮	11.3	拠点漁港整備事業の圧縮
	土地区画整理事業費の先送り	27.2	金田西6.6億円、つくば沿線3地区20.6億円(運動公園7.8億円、柏北部中央6.0億円、木地区6.8億円)
	ハッ場ダム負担の先送り	11.0	治水
農林水産	土地改良事業の先送り	25.9	農道(広域)分6.9億円、直轄事業分19.0億円
	農地集積加速化促進事業の見直し・圧縮	2.3	
商工費	企業立地補助金の圧縮	5.3	8.65億円のうち工場立地新規3社、大企業関係分、新規支援メニュー分
議会費	議員の海外調査費中止	0.3	議員旅費、通訳など委託費、随員職員旅費
		143.1	
	増額するもの	増 額	備 考
衛生費	中学3年まで医療費通院助成	31.0	現行制度のまま(一部負担金300円、所得制限・4人家族年収960万円程度)
	国保ひとり親家庭6歳未満の均等割り助成	12.0	ひとり親家庭の6歳未満の国保均等割り分(約3万1000円)を助成
民生費	重度障害者児医療費助成窓口完全無料化 (住民税所得割非課税世帯は一部負担金無し。新たな65歳以上は対象外)	3.1	現行制度の助成対象(身体障害と知的障害)で、一部負担金をなくす。
	* 精神障害を助成に加える	12.0	2017年度手帳保持者(一級)6888人×平均助成額17万円≒11.7億円(一部負担金有)
	特養ホーム建設補助の大幅増額(1250床分)	56.0	特養ホーム建設補助当初予算案計上(450万円×1403床分)に1250床分を追加。独居・要介護度3~5(1780床)および高齢者のみ世帯・要介護度4~5(874床)の入所待ち分(2654床)早期解消 2654床-1403床=1250床
	介護施設職員確保緊急対策	7.0	潜在有資格者の再就業への支援(2020年度不足14000人うち7000人分×10万円)
	ひとり親家庭医療費助成現物給付化(窓口無料)	1.4	(県が現物給付を行った他県の事例を参考に試算)
教育費	小4、中2で35人学級実施	7.4	2018年5月1日の時点で試算(小4・78人増、中2・68人増)教員一人あたり510万円
	私学 年収250万円未満世帯の施設整備費等減免	11.5	2017年度で試算(@24万5618円、対象4701人)施設設備費+授業料を除く学費
	夜間定時制高校給食の復活	1.7	17校でデリバリー方式で実施
		143.1	(一般会計規模1兆7608億45百円の0.81%)